

イナモリソウ	<i>Pseudopyxis depressa</i> Miq.	絶滅危惧Ⅱ類
		アカネ科
選定理由	岐阜県では生育地、個体数共に少なく存続の基盤が脆弱である。	写真(岐阜県博物館) 標本 
形態の特徴	夏緑性で小型の多年草。茎は高さ3-5cm位で全体に毛があり葉は2-3対で卵形または三角状卵形。花は紅紫色。花期は5-6月。朔果は上向きに着く。	
生態的特徴	山地の林下に生育している。	
分布状況	県南の中部、東部に見られる。	
減少要因	生育地の林下の光り条件の悪化や林道等の整備が主な要因と思われる。	
保全対策	生育地の森林の適度な管理が必要である。また林道等の整備の際には配慮が必要である。	
特記事項	日本固有の属で他にシロバナイナモリソウも県内に見られる。	
参考文献	佐竹義輔他. 1981. 日本の野生植物. Ⅲ. P.49. 平凡社. 東京.	

文責: 荻山恒弘